

8. ボランティアサークル（1年生）

武岡果音（サークル長）、河野彩礼（副サークル長）、住吉葵、土屋なつ子、鷹城七海
梶野莉夢、香川このか、壇卓秀

9. 当日の運営ボランティア（2年生）

河原 心、川原 礼愛、久保 杏騎、佐藤 優果、田邊 彩夏、谷本 心優、渡川 璃音、
西尾 美咲、西田 紗彩、藤本 彩花、藤原 彩花、前迫 友希、山内 優香

10. 来場者：123名

民生委員、里親、呉市職員、地域の皆様、学生（60名）

11. イベントの概要

今年度の公開講座は呉市地域の高等学校吹奏楽部の演奏で開幕しました。地域で活躍している高校生の力強い演奏はシンポジウムに先がけて会場を盛り上げてくれました。

シンポジウムでは、シンポジストの方々にそれぞれの立場で、子どもの虐待に対しての自らの経験・思いそして虐待を防ぐには私たちがどのように行動したらよいか、発言していただきました。今回はシンポジストと会場の方との意見交換を行うことができませんでしたが、参加者に子ども虐待防止の活動を知ってもらい、参加の方々が少しでも虐待防止のために何ができるかを考える貴重な時間になりました。

※来場者の感想（アンケートから）

- ・地域子どもたちののに挨拶することが大切。
- ・親になる前に親としての心構えを教育することを提案したい。相談相手となれるほどの人格や力量が欲しい。
- ・メイプルカイザーさんの発表が記憶に残った。
- ・児童を育てる者が相談できる、回避できる雰囲気なり人となりが必要と思った。
- ・オレンジリボン活動の周知・児童虐待防止の啓発に、もっとテレビなどにも出て欲しい。
- ・近所や地域での子育てしている家族の様子などを観たり、大きな声がすると耳を傾けてみる。
- ・里親をしつつ地域の子育て団体がもっと連携できないか模索しています。まだ小さな活動ですが、コツコツ長く取り組みたいと思います。
- ・児童虐待防止にのために、地道に継続して対応する。国・地方機関の支援も必要。頑張りましょう！
- ・吹奏楽、とても良かったです。
- ・勉強になるお話ばかりでした。



呉市立呉高等学校 吹奏楽部 演奏



サークル長 武岡果音



安芸戦士メープルカイザー様



養育里親 篠原由美様



呉市主任児童委員 芦原豊様音



呉市こども家庭相談課
林佐智子様



シンポジスト ボランティア学生 支援教員たち